

事務事業名		へい獣埋却場事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																								
政策体系	政策名	06 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間																									
	施策名	21 廃棄物処置対策の推進		区分																									
	基本事業名	01 ごみの減量化とリサイクルの推進		単年度繰返																									
根拠法令		化製場等に関する法律		※期間欄に開始年度を記入																									
所属	部課名	市民生活部市民環境課		【開始年度】																									
	課長名	鈴木 康代		昭和43 年度～																									
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111																									
	担当者	米田 大祐	内線	124																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
死亡獣畜の埋却処理を適正に行うために設置。近年は死亡獣畜の処理が主に市外の施設で行われていることから、令和4年度に施設を廃止した。事業費は、埋却場草刈り業務の委託料、及び用地借上げ料に支出される。令和4年度は施設の廃止に伴い、フェンス等撤去業務に委託料を支出した。				<table border="1"> <tr><td rowspan="10">総投入量 (千円)</td><td rowspan="5">事業費</td><td rowspan="5">財源内訳</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="5">人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																										
			都道府県支出金																										
			地方債																										
			その他																										
			一般財源																										
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
		人件費計(B)	0																										
		トータルコスト(A)+(B)	0																										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動) 市で設置しているへい獣埋却場の施設管理 施設の廃止	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>施設の点検回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td>草刈り回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	施設の点検回数	回	イ	草刈り回数	回	ウ		
名称		単位											
ア	施設の点検回数	回											
イ	草刈り回数	回											
ウ													
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 令和4年度に施設の廃止を行ったことから、令和5年度以降は化製場等に関する法律に基づく許可業務を実施する。													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 へい獣埋却施設 利用者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>へい獣埋却施設数</td><td>施設</td></tr> <tr><td>キ</td><td>施設使用件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	へい獣埋却施設数	施設	キ	施設使用件数	件	ク		
名称		単位											
カ	へい獣埋却施設数	施設											
キ	施設使用件数	件											
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設が適切に管理され、使用申請どおりに利用できる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>不具合等発生件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	サ	不具合等発生件数	件	シ			ス		
名称		単位											
サ	不具合等発生件数	件											
シ													
ス													
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 死亡獣畜が公衆衛生上支障なく処理される。													

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円	8	8	21	8	8
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	84	84	537	0	0
	事業費計(A)			千円	92	92	558	8	8
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	10	10	60	10	10	10
		人件費計(B)	千円	40	40	240	40	40	40
		トータルコスト(A)+(B)			千円	132	132	798	48
⑤活動指標	ア	回		1	1	1	-	-	
	イ	回		1	1	0	-	-	
	ウ								
⑥対象指標	カ	施設		1	1	1	-	-	
	キ	件		0	0	0	-	-	
	ク								
⑦成果指標	サ	件		0	0	0	-	-	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0077	事務事業名	へい獣埋却場事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和43年、大船渡市内の死亡獣畜を適正に処理するため、大船渡市へい獣埋却場設置管理に関する条例に基づき設置された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	死亡獣畜の処理を適正に行うために施設を設置し、死亡獣畜の受け入れを行っていたが、近年は市外の施設で処理されるようになったことで利用がなく、施設の維持管理のみを行っている現状である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に寄せられていない。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかずか？意図することが結果に結びついているか？ へい獣埋却場の適切な管理により、死亡獣畜が公衆衛生上支障なく処理されることから、適正な処理に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 近年は死亡獣畜は主に市外の施設で処理されているため、本施設は利用がない状況である。災害などにより大量に死亡獣畜が発生した場合、当市では本施設以外に処理する施設が無いが、東日本大震災や令和元年度の台風23号の際も施設の利用がなかったことから、令和4年度に施設の廃止を行った。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この事業の目的は、施設を利用しようとする者が申請どおりに利用できるよう適切に管理することであり妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 適切な維持管理により不具合は発生しておらず、令和4年度に施設の廃止を行ったため、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 近年は死亡獣畜は主に市外の施設で処理されており、処理ルートは確保されている。また、東日本大震災や令和元年度の台風23号の際も施設の利用がなかったことから影響は少ないため、令和4年度に施設の廃止を行った。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 令和4年度に施設の廃止を行い、令和5年度以降は事業費がないことから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 現在も最低限の事務執行のみ行っており、削減の余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 利用にあたっては、使用料を徴する。また、死亡獣畜が適正に処理されることにより、市内全域の公衆衛生が保持されるため、市民に対して公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
3 終了・廃止・休止	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	令和4年度に施設を廃止したため、令和5年度以降は化製場等に関する法律に基づく許可業務のみとなる。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
3 終了・廃止・休止	令和4年度に事業を廃止